修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　前田　寛
東京都千代田区西神田
2丁目8－7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）6－36337

修学旅行は、学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行う学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた責務でもある。
（財団法人　全国修学旅行研究協会の趣意書から）

来年度修学旅行費等の補助金
増額を大蔵省に陳情

大蔵省中川主計官㊨に陳情書を渡す

文部省の概算要求どおりに
(財)全修協・三地区修旅連

財団法人全国修学旅行研究協会（山本種一理事長）と、関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会（三地区修旅連、大島直樹会長・名古屋市立冨士中学校長）とは、文部省が提出した平成三年度の修学旅行費等の国庫補助金に関する概算要求が、原案どおりに査定されるよう、十一月六日大蔵省に対して陳情を行った。

(財)全国修学旅行研究協会と三地区修旅連は、各省庁の翌年度予算の概算要求の編成時期を見計らって、去る六月八日、来年度の修学旅行・校外活動費等の国庫補助金（要保護・準要保護家庭並びにへき地校の児童生徒に支給）の増額について、文部省に陳情を行っている。

今回の陳情は、文部省からの概算要求が大蔵省に提案されたのを機に、当該予算の査定について、大蔵省の協力を得るため行ったものである。

十一月六日、全修協から前田寛事務局長、中島和友事務局次長、糸賀英一修学旅行部長、三地区修旅連を代表し、布目雅之運営委員（越谷市立千間台中学校長）、佐藤時昭千葉県委員（松戸市立栗ヶ沢中学校長）の五名が、大蔵省主計局文部第二係の安部正信係長を介して、中川雅治主計官に面会し、上述の補助金の増額について、概算要求どおりに査定されたいと陳情した。

これに対し、中川主計官から「国の財政事情は厳しい状況下にあるが、陳情の趣旨は十分尊重したい」との了承を得た。

時言
教職員研修旅行と生涯学習
編集委員　北條直樹

昨年の幕張メッセに引き続き、第二回生涯学習フェスティバルが十月三十一日から十一月五日まで京都で開かれた。

子供からお年寄りまで多くの人々が楽しく参加でき、京都ならではの内容を盛り込んだフェスティバルで、教育、文化、芸術、娯楽等、多彩なプログラムを繰りひろげ、より豊かな生きがいのある生涯学習社会の推進を目指した。

生涯学習の重要性にかんがみ、本協会も協力団体の一翼を担い、山本理事長も開会式に参加した。

現代社会は、国際化、情報化や高齢化など、様々な特色をもつ。教育改革も生涯学習体系への移行を重点とし、学校教育はその基礎として位置づけられている。これらの情勢を思うとき、本協会が三十数年にわたって実施している教職員研修旅行は、今後ますます重要性を増してくると言わなければならない。

使い古された言葉であるが、「百聞は一見に如かず」と言われる。旅の体験は、人々の視野を広め、考え方を深めてくれるものである。現在、「古都――その点・線・面」連載のために、京都を歩き、自分の足で確かめているが、学ぶことは実に多い。風雪に耐えてきた文化財の伝統の上に現在の文化があり、それらを見通すことにより、未来を目指すことができるからである。

教職員研修旅行は、まずこうした研修性を第一においている。特に見学地に詳しい講師陣の充実は一般の旅行にない深さを与えてくれる。「講師の話を聞き、勉強できるから、毎年参加しています」という退職者の感想も寄せられている。まさに生涯学習にふさわしいものと言えよう。

一般の旅行の場合、景観や文化財の鑑賞とともに、食事、旅館、ショッピング等が目当てとされる。特に最近はグルメ旅行という言葉も生まれた。こうした娯楽性といえるものは、教職員研修旅行にも欠くことができないものであろう。特に高齢化時代の今日、退職者の参加も増え、一層その感が強いが、一般の旅行と決定的に違うのは、講師陣の充実のほかに、参加者が、現職、退職の別はあるにせよ、同じ職能グループに属していることである。

したがって、見学地だけでなく、乗物から旅館の設備に至るまで、旅行のすべてにわたって教育的視点でとらえることになる。その一つは、見学地を修学旅行候補地として考えることであり、他の一つは、見学で得たものを日常の教育活動へ生かすことである。

夕食の中で、また見学の途中や休憩時に、人間的な触れ合いとともに、職能的交流も行われる。現職・退職者が一団になった場合も、退職者の三十年ないし四十年の体験は、起居振舞やものの見方、考え方を通して、現職教職員に示唆を与えることが少なくない。

生涯学習が生涯にわたって学習意欲を持続させ、更には生きがいを感じさせるとき、旅は生涯学習につながる絶好の機会となろう。事前に旅を思い、旅の最中に感動と学習と楽しみをもたらし、事後の日常生活の心の糧となり、生涯の思い出にすることができるからである。

教職員研修旅行は公的性格を持ち、教育委員会を始め、教育諸団体の後援がなされている。その充実のために、企画はもちろん、広報活動や募集に協力している互助組合等の功績は大きい。そうした団体との連携を図りながら、現代の教育界のニーズにこたえ、よりよい研修旅行を企画し、実施することは、修学旅行の改善・向上とともに、本協会に課せられた最大の課題である。更にそれは生涯学習の一環という大目標にもつながるからである。

京都の生涯学習フェスティバルが提唱した「きょうより　あしたのわたしへ」は、教職員研修旅行の意義を端的に表現したものと言えよう。

大分県立高校の韓国への修学旅行
来年度から可能に

大分県教育委員会は、平成三年四月一日から、県立高等学校の海外修学旅行を韓国に限り許可する方針を決定し、このほど県立学校長あてに通知した。これによって、同県立高校の旅行地は、来年度から「関東以西・韓国」となり、九州全県で海外旅行未許可の県は宮崎県のみとなった。

なお、県教委では、生活習慣、交通事情、通信連絡体制、医療条件、安全基準、補償内容等が異なる旅行であるので、安全の確保については、計画段階から取扱代理店、保護者と密接な連携をとり、これまで以上の慎重な配慮をするよう要望している。

九州地方は韓国、中国など海外修学旅行の目的地に地理的に近く、時間的、経済的にも好条件を備えており、更に最近の国際理解を重視する教育政策の影響も見逃せない。

第7回　全国修学旅行研究大会
11月28日　豊橋で開催

「連帯感の育成を図る特色ある修学旅行」を主題に、第七回全国修学旅行研究大会を開催します。

1主催　東海三県中学校修学旅行委員会、(財)全国修学旅行研究協会
2後援　文部省、都道府県教育長協議会、愛知県・岐阜県・三重県・豊橋市各教育委員会、(財)愛知県教育振興会
3協賛　関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会
4日時　平成二年十一月二十八日(水)十三時開会
5会場　ホリデイ・イン豊橋（JR・名鉄豊橋駅西口から送迎バスあり）
6内容　(1)研究発表
・集団意識を高める手作りの修学旅行
豊橋市立青陵中学校
教諭　鎌田　孝一
・特色ある修学旅行の実施を求めて
名張市立南中学校
校長　松崎　一三
(2)研究協議
(3)講演
「教育改革と修学旅行」
文部省初等中等教育局教科調査官　渡部邦雄氏
7申込　(財)全修協名古屋事務所〒460名古屋市中区栄三－八－八平和ビル五階
☎052・262・1971

第5回　近畿地区中学校修学旅行研究発表大会
12月3日　奈良で開催

「生徒の自ら学ぶ意欲を高め、創意を生かす修学旅行」を主題に、研究発表大会を開催します。

1主催　近畿地区公立中学校修学旅行委員会、(財)全国修学旅行研究協会
2後援　奈良県・奈良市・大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・和歌山県各教育委員会
3協賛　関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会
4日時　平成二年十二月三日(月)十三時三十分開会
5会場　公立学校共済組合・春日野荘（奈良市法蓮町七五七－二）
6内容　(1)研究発表
・自ら学び、行動する生徒の育成を目指す修学旅行
大和高田市立高田中学校
教諭　南　昌克
・創意あふれる班別自主活動を取り入れた修学旅行
和歌山市立伏虎中学校
教諭　東　康修
(2)研究協議
(3)指導助言　奈良県教委
7連絡先　(財)全修協大阪事務局〒541大阪市中央区北浜三－一－二四近鉄ビル
☎06・202・6500

風紋

「秋の夕日に照る山紅葉…」紅葉の便りは、桜前線とは逆に北から南へ、山から里へと下りて来る▼見ごろの時期は花見と同じでそう長くは続かない。しかし、吉野の桜が下の千本から奥の千本まで一か月も楽しめるように、標高差の大きいところでは、どこかで盛りの紅葉に出会う。日光では、全精峠の上でナナカマドが色づいてから、東照宮あたりのカエデが最盛期を迎えるまで一か月以上かかる▼滋賀と広島の県の木は「もみじ」、日吉大社や厳島は今が一番良い時期であるが、修学旅行生には宮島名物「もみじまんじゅう」が人気のようだ▼古都鎌倉や京都の紅葉はこれからである。京都では嵐山や高雄が有名だが、京都駅からわずか一駅、東福寺の紅葉は実に素晴らしい。東山を背に、洗玉澗の谷を埋め尽くすカエデの色は、言葉では表わせない▼鮮やかな色になるには昼と夜の気温差が大きいことが望ましく、平地よりも山や谷の深いところが好適だ。そしてカエデやツタの赤一色も良いが、茶や黄、それに松などの常緑樹と清流が色どりを添えて「水の上にも織る錦」となり、一層風情を増す▼東京都・大阪府・神奈川県の木は「いちょう」、神宮外苑・御堂筋の並木、鶴岡八幡の巨木もやがて色づく。童謡「たきび」の舞台は東京都内だが、今の都会では「おちばたき」も煙害で不可能だ。堆肥にもならず、清掃車で埋立地や清掃工場へ直行、ゴミ公害と地球温暖化の要因となっている。美しい落葉のリサイクルを改めて考えたいものだ。（中）

信頼される旅づくり

心にあざやかな想い出、
ツーリストの修学旅行。

修学旅行は、プランニングから実施まで、安全で意義深いものでなければなりません。近畿日本ツーリストでは、修学旅行に必要な事項をキメ細かく網羅した全国地域別「企画書シリーズ」を作成し、ご活用いただいております。さらに、北海道から沖縄まで、修学旅行・ビデオテープ「学習の旅シリーズ」もご用意。学校の教育方針に沿いながらも、生徒ひとりひとりの心に輝く想い出づくりのため、国内・海外のネットワークを駆使して、細心の努力をいたします。

近畿日本ツーリスト　本社 〒101 東京都千代田区神田松永町19-2
支店／国内250店（登録）／海外15店　運輸大臣登録一般旅行業第20号

修学旅行を考える

文部省教科調査官　渡部邦雄

一、子供の変容から

最近の生徒のパーソナリティが大きく変容したと言われている。幼児性をいつまでも引きずっていたり、自己中心的で社会性が身に付いていなかったりしているということである。彼らを取り巻く社会の変化がその一因であろう。人間関係の希薄化、様々な生活経験の不足、学歴偏重の風潮、ニューメディアの発達等々の因子が生徒の発達課題の達成を困難にしているとも言える。

協力、責任、自律、自他の尊重、自主性、社会性など人間形成上重要な要素の体得の機会が少ない現実がある。私たちは日常の学校生活はもちろん、あらゆる機会を利用しその育成に心しなければならない。

二、学習指導要領では

指導計画の作成に当たっての配慮事項に「体験的な活動を重視するとともに、生徒の興味や関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること」「教師と生徒及び生徒相互の好ましい人間関係を育て……」などが示されている。

特別活動においては、その目標に「望ましい集団活動を通して」「自主的、実践的な態度を育て」「人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う」を掲げている。「学校行事」では、集団生活への適応、自然との触れ合い、奉仕や勤労の精神の涵養が一層重視され、従前の「旅行的行事」も「旅行・集団宿泊的行事」に改められ、集団生活の在り方や公衆道徳についての望ましい体験や進路選択に役立つ体験などが指導の視点として示された。

旅行・集団宿泊的行事は「平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験をつむことができるような活動を行うこと」として、学校外での教育活動として位置づけられている。修学旅行を始め、遠足、集団宿泊、野外活動などがそれである。これらの諸活動は、自律心を養い、自主的に集団の規律や秩序を守る態度を育てるとともに、見知らぬ土地の人々や自然、文化に親しむ貴重な体験の機会としての意味をもっている。様々なことがらの直接の見聞は、学校での学習を拡充し、広い知見や情操をはぐくんでくれる。

また、寝食を共にした生活は、生徒相互、教師と生徒の人間的な触れ合いの場として、格好の機会でもある。四六時中を共に過すことは、互いの人間性をさらけ出すとともに、集団生活における一員としての在り方を身をもって学ぶ貴重な体験となる。

集団生活を楽しく充実したものとするために、お互いに健康安全、集団のきまり、公衆道徳の重要性を認識し、実践に移すことがいかに大切であるかを、一つ一つの具体的な場面を通して学ぶことができる。

過保護で耐性に欠け、自律心の乏しい生徒が増加傾向にあるとき、旅行・集団宿泊的行事が果たす役割には大きなものがある。

三、修学旅行の役割

旅行・集団宿泊的行事の教育的意義は、平素と異なる「場の効用」「終日を共にする「集団生活」多様な「生活経験」の相乗効果を生かして、集団行動を通して自律心を養い、自主的に集団の規律や秩序を遵守する態度を育成し、自然や文化に親しむとともに様々な人との出合い、触れ合いの経験を通し、人間としての在り方や生き方についての自覚を深めることにあると言えよう。

なかでも修学旅行は、美しい自然の景観、先人が遺した地域の歴史や文化、郷土色豊かな地場産業、近代的な政治経済の姿などにも触れることができる。交通機関、宿舎、見学個所などでの多くの人々との出合いがあり、その生き方を肌で感じることができる。このことは生徒一人一人が自己を見つめ自己の生き方を考える契機ともなる。

特別活動が自主的、実践的態度を育成し、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養うことをねらいとするとき、修学旅行が果たす役割がいかに大きいかを再認識し、その機能が十分発揮できるように、今後とも一層の努力を続けることが大切であろう。

〈渡部邦雄氏　略歴〉
昭和三十六年東京学芸大学卒業、東京都公立中学校教諭を経て東京都立大学卒業、東京都立教育研究所指導主事、東京都教育庁指導部指導主事、板橋区教育委員会指導室長を歴任、平成二年四月から文部省初等中等教育局中学校課・高等学校課教科調査官（特別活動担当）

京都での生涯学習フェスティバルに50万人が参加

文部省・京都府・京都市ほかの主催、全国都道府県教育委員会連合会・全日本中学校長会・財団法人全国修学旅行研究協会などの協力による「第二回生涯学習フェスティバル、まなびピア90ｉｎ京都」が、十月三十一日から十一月五日まで京都市内の三会場を中心に開催された。

総合テーマ「新しい風、生涯学習」、大会テーマ「きょうより、あしたのわたしへ」のもと、生涯学習シンポジウムを始め、教育・文化・趣味など百二十三（雨のため一会場中止）の分野にわたって、多彩なプログラムを展開し、小学校の団体から高齢者まで、延べ五十万名の幅広い参加者で連日盛況だった。

来年度は大分県で開催される。

川崎・大師中が特選に
修学旅行研究論文コンクールで表彰式
㈶日動火災振興基金

㈱日動火災教育振興基金（佐藤義和理事長）が、文部省、㈶全国修学旅行研究協会などの後援により、創立五周年を記念して募集した「修学旅行に関する研究論文」コンクールの入選者が決定し、十月三十日東京・銀座の日動火災海上保険㈱本社で表彰式が行われた。

特選には、神奈川県川崎市立大師中学校森田圭一教諭の「思い出に残る修学旅行をどう創るか」が、準特選には宮城県仙台市立住吉台小学校、新潟県新発田市立佐々木中学校、群馬県立前橋女子高等学校、栃木県立益子養護学校の論文が選ばれ、それぞれ賞状と賞金が手渡された。

以上五編のほか、入選十二編、佳作五編が選ばれ、入選までの十七編の論文集は来春出版される予定である。

入選・佳作の学校名〉

入選＝神奈川県横浜市立本宿小、静岡県静岡市立城山中、愛知県名古屋市立伊勢山中、新潟県弥彦村立弥彦中、群馬県高崎市立塚沢中、北海道教育大附属函館中、東京都立大崎高、静岡県立静岡高、愛知県立安城東高、広島県立廿日市西高、神奈川県横浜市立盲学校、神奈川県立鶴見養護学校

佳作＝宮城県仙台市立小松島小、栃木県栃木市立大宮北小、埼玉県越谷市立栄進中、愛知県甚目寺町立南中、香川県立香川中部養護学校

第2回　海外研修セミナー
12月12日　金沢で開催

「国際化教育への指針」をテーマに、第二回海外研修セミナーを開催します。

1主催　財団法人全国修学旅行研究協会

2協賛　オーストラリア政府観光局、ニュージーランド政府観光局、近畿日本ツーリスト株式会社

3日時　平成二年十二月十二日㈬十三時開会

4会場　金沢都ホテル（JR金沢駅前）

5内容　講演三題

(1)アメリカにおける日本人語学研修生受け入れの現状　ウィッシュインターナショナル株式会社　日本代表　鈴木　実氏

(2)語学研修・ホームステイの心構え…体験を通して　財団法人エイ・エフ・エス日本協会　事務局次長　武藤多美氏

(3)高等学校の国際交流活動　福井県立武生東高等学校　教頭　小川英雄氏

6参加申込

(1)学校長並びに教職員、一校二名まで

(2)往復はがきで十一月三十日までに左記へ、定員百名になり次第締め切り

(3)参加費＝無料

7連絡先　㈶全国修学旅行研究協会名古屋事務所〒460名古屋市中区栄三―八―八平和ビル五階☎052・262・1971

平成四年度輸送計画を決定
関東地区公立中修旅委

関東地区公立中学校修学旅行委員会（阿部豊会長・宇都宮市立一条中学校長）は、本年度第四回研究協議会を、十月三十一日東京文化会館で開催し、八百十七校、十七万九千八百十一名に上る平成四年度修学旅行輸送計画案を決定、また、十一月十五日宇都宮で開催する本年度研究発表会の成功を期して、参加者動員につき各委員の最大限の努力を申し合わせた。

会は、八木忠雄副会長（旭市立第二中学校長）の開会の辞で始まり、阿部豊会長、前田寛参与（㈶全国修学旅行研究協会事務局長）のあいさつがあり、続いてJR東日本塚田英雄係長、JR東海山崎欐雄課長及び都筑光昭課長代理から、特に限界に達している東海道新幹線の輸送力を少しでも緩和するため、従来往路ひかり復路こだまの関西Aコースの専用列車を、来春から往路こだまより速いタイプの臨時、復路ひかりに変更する事情について説明があった。

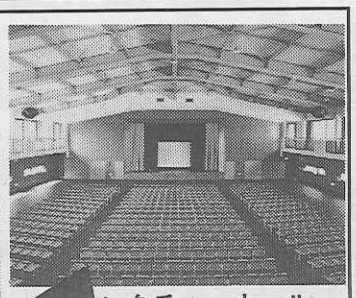
関修委としては不本意ながら同意せざるを得ないが、今後とも修学旅行団体にしわ寄せをしないよう申し入れた。

布目雅之運営委員長（越谷市立千間台中学校長）を議長に、修学旅行実施報告など五件の報告事項を承認、前田参与から「修学旅行総覧」発刊に関する文書の配布方について要請があり、了承された。

続いて、来る十五日開催の研究発表会の各県の参加状況（現時点で二〇五名）を確認し、更に多くの関係者に参加を促すことを決めた。

平成四年度の本会加盟校の修学旅行輸送計画は、各県持回りで作成された割付の原案を確認し、ほとんど無修正で決定、正式発表は十一月三十日に行うこととし、八木原勝可副会長（前橋市立第五中学校長）の閉会の辞で終了した。

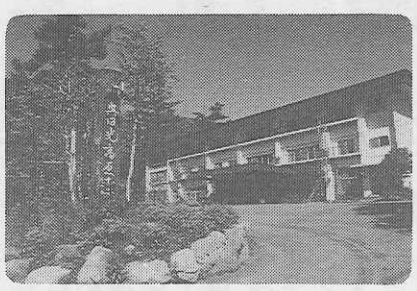
とびだせ自然へ
緑の箱根へ



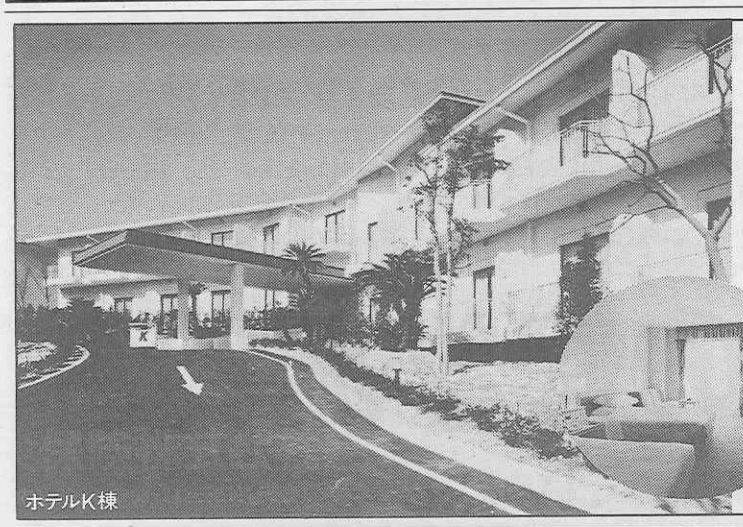
レクチャーホール

箱根高原ホテル
〒250-05 神奈川県箱根町元箱根164
電話0460-4-8595（代表）

●修学旅行／林間学校／スキー体験学習
奥日光の自然と仲間たちとの語らい……



夏は林間学校、冬はスキー
自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください
鉄筋3階建／小学生550名／中学生550名／高校生450名収容／大浴場あり
奥日光高原ホテル
〒321-16 栃木県日光市湯元温泉
TEL. 0288(62)2121（代表）



ホテルK棟

きっと、思い出いっぱいの旅になる。
修学旅行は、鈴鹿サーキットで体験学習。
見て聞いて、触れて学ぶ。ためになる体験をしたら、宿泊はリゾート感覚あふれる〈ホテルK棟〉をご利用ください。魅力的な施設・サービスが修学旅行を思い出深いものにします。学校団体用SPECIAL PRICEにてお待ちしています。
そのほか、北欧風のD棟・E棟・G棟・J棟、団体でのお泊りに便利なビレッジF棟など多彩な宿泊施設もご利用ください。

▲横G体験が新しいサイドフォースカート（モートピア）

体験学習のご案内
●エンジン教室●本田技研鈴鹿製作所工場見学
●モートピア●モータースポーツ観戦●地曳網
●潮干狩●伊勢形紙彫り●茶摘み●テーブルマナー 他

お問い合わせ・お申し込みは――
鈴鹿サーキット
〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎(0593)78-1111
東京営業所 〒107 東京都港区赤坂2―17―22 赤坂ツインタワービル東館16階 ☎(03)582-3221